

県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編に係る医療機能

1 診療機能

中・西播磨医療圏域等における医療の現状並びに今後の見込み、並びにこれまで両病院が果たしてきた役割を踏まえ、以下の基本方針並びに必要な診療機能を取りまとめた。

(基本方針)

- ① 高度専門・急性期医療を中心とした政策医療のうち、両病院がこれまで担ってきた診療機能を継承・発展させるとともに、中・西播磨医療圏域が抱える課題を踏まえ、当該圏域における中核的な医療機関を目指す。
- ② 総合的な診療機能を活かし、成人を中心とした幅広い疾患に対応する救急医療の充実を図ることにより、中・西播磨医療圏域における医療提供体制等の課題解決に寄与する。
- ③ 新病院は、高度専門・急性期医療を担う病院として連携医療施設と提携・協力し、地域医療ネットワークの中心的役割を果たす。
- ④ 先進医療や先制医療への貢献を含めた質の高い診療・教育・研究を行い、将来の活躍が期待される医師・医療従事者が集まるマグネットホスピタルを目指す。
- ⑤ 診療・教育・研究活動の成果を県民一般に広く公開・還元して、疾病予防の啓発活動や予防医学の進展に貢献する。

【5疾病5事業】

区 分		統合新病院が担う診療機能（案）		
		継 続		新規・拡充
		姫路循環器病センター	製鉄記念広畑病院	
5 疾病	がん	—	①兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定 ②内視鏡センターの設置	① 腫瘍センターの設置 ・PET-CT、内視鏡下手術支援ロボット、無菌室等の導入によるがん医療の充実 ・全てのがん疾患への対応強化（集学的治療の実施） ・高度放射線治療の充実 ・外来化学療法部門、放射線治療部門、緩和医療部門等の設置 ・県立粒子線医療センターとの連携強化

区 分		統合新病院が担う診療機能（案）		
		継 続		新規・拡充
		姫路循環器病センター	製鉄記念広畑病院	
	脳卒中	① 来院後 2 時間以内の内科的・外科的治療（24 時間可能） ② 急性期リハビリテーションの実施	① 来院後 2 時間以内の内科的・外科的治療（24 時間可能） ② 急性期リハビリテーションの実施	① 24時間365日専門的治療の充実 ② SCU、SU の設置
	心筋梗塞	① 専門的検査、診療の 24 時間対応 ② 心臓リハビリテーションの実施	—	① 24時間365日専門的治療の充実 ② 外来リハの充実
	糖尿病	① 糖尿病センターの設置	—	① 糖尿病センターの充実
	精神疾患	①認知症疾患医療センターの設置	—	① 身体合併症を持つ精神疾患患者への対応【要調整】 ② 認知症に関する治療、臨床研究の充実
5 事業	救急医療	① 救命救急センターの指定 ② 姫路市病院群輪番制（2次救急）に参加	① 救命救急センターの指定 ② （1次）～3次救急の提供（ER型） ③ ドクターカーの運用 ④ 姫路市病院群輪番制（2次救急）に参加	① 救急搬送患者を 24 時間 365 日断らないER型救命救急医療の実施【要調整】
	災害医療	① 災害拠点病院の設置 ② 兵庫 DMAT 指定病院	—	① 中・西播磨圏域の災害拠点病院として、救急受入体制を整備
	へき地医療	—	① へき地医療拠点病院	
	周産期医療	—	① 入院機能を持つ分娩	① 周辺医療機関との連携により必要な役割を果たす
	小児医療	—	① 常勤医を配した入院施設	

区 分	統合新病院が担う診療機能（案）		
	継 続		新規・拡充
	姫路循環器病センター	製鉄記念広畑病院	
その他の政策医療	① 地域医療支援病院 ② 地域医療機関向け公開講座 ③ 市民向けフォーラム	① 兵庫県ドクターヘリ準基地病院 ② 地域医療機関向け公開講座 ③ 市民向けフォーラム	① 加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリの運航 ② 心不全や難病等の分野における在宅医療の支援 ③ 感染症への対応強化（陰圧室の整備等）
教育・研究	① 協力型臨床研修病院 ② 神戸大学連携大学院（循環器内科学、心臓血管外科学分野）	① 基幹型臨床研修病院 ② 基幹型臨床研修病院	① 基幹型臨床研修病院 ② 新制度に基づく専門医養成プログラム基幹病院 ③ 連携大学院の充実 ④ 充実した研究・研修施設の整備 ⑤ 中・西播磨医療圏域における若手医師、医療従事者の研修支援 ⑥ 先進・先制医療の推進（先端機器・材料の研究、開発および先天性疾患・その他難病疾患等における遺伝子診断等）

※ 【要調整】項目については、今後、医師等医療従事者の確保状況を踏まえ、検討を行っていくべき項目である

2 診療科案

(1) 診療科目

- ① 中・西播磨医療圏域の中核病院として専門的治療を行うことができるよう専門診療科を設置する方向で検討を行う。
- ② 成人を中心とした疾患に対応できる救急医療を行うため、現在、未設置の診療科についても整備を行う（各診療科専門医については、現在、両病院の医師派遣を主に行っている神戸大学と体制について協議を行っていく）。
- ③ 今後、両病院で検討の上、必要な疾患については、診療科間の垣根を越えたチーム医療を行うべくセンター化を目指していく。

(2) 専門センター等の整備

今後、両病院で検討の上、医師、医療従事者等の確保状況を踏まえ、必要なセンター（次表に例示）を整備していく。

疾患領域別診療センター	専門センター
① 心臓血管センター ② 脳卒中センター ③ 消化器センター ④ 呼吸器センター ⑤ 総合診療センター ⑥ 脳・神経センター ⑦ 脊椎・脊髄センター ⑧ 糖尿病センター ⑨ 腎臓・泌尿器センター ⑩ 外傷センター ⑪ 骨・関節センター ⑫ 認知症疾患センター ⑬ 母子医療センター	① 血管内治療センター ② 腫瘍センター ③ 内視鏡センター ④ 血液浄化センター ⑤ 超音波センター ⑥ 急性期リハビリテーションセンター
	その他のセンター
	① 医療安全センター ② 患者支援センター （入院前検査・患者相談・医療福祉相談） ③ 臨床研究センター ④ 臨床試験・治験管理センター ⑤ 人材育成・研修センター ⑥ 医療情報管理センター ⑦ 地域連携センター

3 教育・研修機能

地域医療に関わる人材の教育研修を通じ、中・西播磨圏域における地域医療へ貢献する。

- (1) スキルラボや院内図書室を充実させる等、若手医師の専門性の向上と研究を支援する体制を整備する。
- (2) 看護師、薬剤師、技師、療法士等について、必要な指導体制・施設を整備し、実習やレジデントの受け入れを積極的に行うほか、地域で働くメディカルスタッフの育成に注力する。
- (3) ICTを用いたテレカンファレンス等により、中・西播磨圏域の公立病院等の研修体制を支援する。